

# 視点

## 環境にやさしい 「グリーン購入」で ライフスタイルの転換を

埼玉グリーン購入ネットワーク事務局長 秋元 智子



今回未曾有の東日本大震災の影響を受け、関東地方も東北太平洋岸の火力発電所や福島原子力発電所の稼働停止により、3月の計画停電など首都圏を中心に大混乱に見舞われました。私たちも通勤電車の運行停止や物資不足などでパニックに陥りました。今まではエネルギーは当たり前供給されると思いこんでいましたが、今回の震災による生活の不自由さは、ライフスタイルを見直す機会となったのではないかと思います。

今私たちは資源の枯渇の問題、エネルギーを得るために大量の化石燃料を燃やすことによって排出される二酸化炭素による地球温暖化問題、大量生産・大量消費による廃棄物の増大など、私たちが便利で豊かな生活を享受する反面、環境悪化は早いスピードで進んでいます。そこで個人々の環境への取り組みが求められており、行動を推進していくためには、まずライフスタイルを見直すことが必要となります。私は長い環境活動の中で、「グリーン購入」を通してライフスタイルの転換を提案してきました。私たちが環境を考えてものやサービスを購入することにより、ライフスタイルを変えていこうという運動がグリーン購入です。例えば、トイレトペーパーを購入する際、紙のリサイクルを考えて再生紙を選択した時点で、私たちの行動は環境配慮に変わります。そのような消費者が増えることにより、環境に取り組んでいる事業者の製品やサービスの需要が促進され、環境に配慮している会社を応援することにもつながります。その結果環境に配慮した製品や事業者が増えグリーンな市場が生まれます。今言われてい

るグリーンニューディールは、環境製品の技術開発と生産、販売による経済政策であり、まさにグリーン購入そのものの考え方です。グリーン購入を推進する組織としてNGO「グリーン購入ネットワーク（GPN）」という団体があります。私はGPNの代表理事を務め、またGPNの地域ネットとして「埼玉グリーン購入ネットワーク」を5年前に多くの方と立ち上げました。今会員として約100組織・企業に参加いただいています。これから夏に向かい、関東地方は電力の供給不足が心配されています。夏の最大ピーク時には、約10,000kWの電力不足が予測されている中、国は事業者も家庭もすべて15%削減を打ち出しています。そこでGPNとしては、一斉行動「今だからこそみんなで節電」キャンペーンを実施しています。GPNに参加登録し、各組織や企業、家庭において節電を呼びかけ実施するものです。節電はあくまで今夏の電力の供給不足への対策ですが、今後エネルギーの不足が予測される中で、長期的な視点で省エネを実施していかなければなりません。省エネは機器の買い替えが効果的であり、長期的にはコスト削減につながりお得です。GPNでは省エネ製品や、グリーン購入法適合製品を選択する際に基準となるデータベースも用意しています。ぜひ会員となって一緒に活動していただければ幸いです。

グリーン購入とは：製品やサービスを購入する際にその必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先して購入しようということである。埼玉グリーン購入ネットワークのHP：

<http://www.saitamagn.jp/>